

「広域的課題の整理」のまとめ方等について

【目次】

1. 検討の視点.....	1
(1) 「広域的課題」の整理の目的	1
(2) 課題等のとりまとめ方法.....	1
(3) 広域的課題等として整理することが考えられるもの（例）	2
2. 各市の現況の整理に用いるデータ指標案.....	3
参考1 県ヒアリング結果に見る本地域の広域的課題.....	5
参考2 東葛市町広域行政連絡協議会 広域行政研究会「広域連携のあり方に関する調査報告書」 （平成15年3月）において整理した広域的課題.....	10

本資料は、今後、研究会において東葛地域の広域的な課題等を検討していくにあたり、検討の視点や、整理する基礎データ項目案などについて案を示すものである。

具体的な課題の提示やデータ整理等については、中間報告に向け今後作業を行う。

1. 検討の視点

(1) 「広域的課題」の整理の目的

東葛地域の将来のまちづくりの方向性を検討するにあたり、地域の現況と広域的に対応すべきと考えられる課題の整理を行う。

また、現況と広域的課題を踏まえ、東葛地域の広域的なまちづくりの方向性を検討する。

なお、「広域的課題」の定義については、特に厳密に定めるものではないが、概ね、次のような課題を指すこととする。

- 東葛地域全域に影響がある広域的に取り組むべきテーマ（例：環境問題、交通利便性向上など）
- 各市に共通する課題（例：公共施設の維持更新など）
- 市境付近での課題（例：住民の利便性やまちづくりの一体性に係る課題（小学校や消防署等の効果的・効率的配置など）など

(2) 課題等のとりまとめ方法

以下のような検討材料をもとに、とりまとめを行う。

- 地域特性を表す各種データ（2. 参照）の整理・分析から考察。
- 千葉県市町村合併推進審議会が平成17年12月～平成18年5月にかけて県内全市町村に対し実施した「合併推進構想策定に係る市町村ヒアリング」の関連部分を踏まえ考察。 → 参考1参照
- 各市が広域的課題（広域的に処理すべきと考えられる事項）を持ち寄り、その解決の方向性なども含め議論をもとに整理。
→ 平成14年度に東葛市町広域行政連絡協議会の中に設置した研究会でまとめた「広域連携のあり方に関する調査報告書」において整理した広域的課題については、参考2参照

(3) 広域的課題等として整理することが考えられるもの（例）

例えば、以下のようなものが課題の一例として考えられるのではないか。

現時点で他にどのような課題が想定されるか、第2回研究会においては、意見交換を行いたい。

広域的課題（例） ※順不同	政令指定都市となること、あるいは合併による課題解決の可能性（例）
人口減少社会、分権社会において自治体間競争が進む中、地域の総合力の向上が求められる。	※資料1の「5. 政令指定都市移行により想定される変化、影響等に係る論点」の分析と合わせ、今後検討していく。
人口急増期に整備した公共施設やインフラ等の維持更新（耐震改修含む）が必要となっており、住民利便性の維持向上や、財源の確保等が課題となっている。	同上
特に市境付近などにおいて、公共施設・サービスの効果的・効率的な提供が課題となっている。	同上
廃棄物問題や水質浄化、緑の保全など、環境問題は単独の市だけでは解決が困難な面があり、広域的な対応が課題となっている。	同上
鉄道網の一層の充実や利便性の向上が課題となっている。また域内交通の充実が課題となっている。	同上
総合的な医療体制の整備や、負担のあり方等が課題となっている。	同上
など	

2. 各市の現況の整理に用いるデータ指標案

本研究会の中間報告に向け、東葛6市の現況を整理する上で、以下のようなデータを整理することが考えられる。

【データ整理の目的】

- ・ 本地域の特性を整理するため。
- ・ 本地域の広域的な課題等を検討する上での基礎データとするため。
- ・ 本地域の合計値等を、他政令指定都市の指標と比較するため。

【データ等の選定の基準】

- ・ 地域特性、行財政状況を表す基礎指標
 - ・ 広域的なまちづくりに関わるもの
 - ・ 6市計の指標を、他政令指定都市の指標と比較して有意であると思われるもの
 - ・ その他、定量データではないが、東葛地域の将来のまちづくりに関わりが深いと思われる定性的事項
- ※ データの種類によって、単年度の状況、あるいは経年変化を見るもの等を区別

【整理するデータ（例）】

大項目	中項目	データ種類等	備考
(1) 人口	①常住人口	・ 国勢調査人口（総人口、世代別人口） ・ 世帯数（総世帯数、1世帯あたり人口）	
	②将来人口	・ 各市の推計人口、世代別人口（各市の総合計画のフレーム、及び国立社会保障・人口問題研究所推計値）	参考値として整理する
	③昼間人口	・ 国勢調査昼間人口 ・ 昼夜間人口比	
	④交流人口	・ 主要駅の乗降客数 ・ 主な商業施設、大学、観光施設等の利用者数	
(2) 面積、土地利用	①面積	・ 総面積 ・ 可住地面積	
	②土地利用	・ 地目別面積	
(3) 日常生活圏		・ 通勤（国勢調査） ・ 通学（国勢調査） ・ 商圈（県の商圈調査）	時点が古いものとなる可能性あり
(4) 産業	①就業者・従業者	産業別就業者数、産業別従業者数	
	②農業、漁業	農業従事者数、主要農作物作付面積、内水面漁業生産量	
	③工業	事業所数、従業者数、製造品出荷額等	
	④商業	商店数、従業者数及び年間商品販売額等、地元購買率等	
	⑤その他主な施設、取り組み等	インキュベーション施設等	

大項目	中項目	データ種類等	備考
(5) 公共施設・公的 施設	①小中学校	位置、児童生徒数、クラス数など	
	②スポーツ文化施設	位置、規模、稼働状況など	
	③保育所	位置、園児数、サービス概要、待機者数 など	
	④その他福祉施設	位置、施設概要	
	⑤医療機関	主な医療機関、通院状況	
	⑥消防・防災関連施 設	消防署位置、装備概要、出動状況、避難 場所、備蓄	
	⑦上水道、下水道	整備状況	
	⑧廃棄物、リサイク ル関連施設	清掃工場・最終処分場・リサイクルセン ターの位置等、産業廃棄物処理施設等の 位置等	
	⑨今後、施設の維持 更新等が課題とな りそうな施設	施設・課題の概要	
(6) 地域コミュニ ティ	①基本となるコミュ ニティ単位		
	②コミュニティ拠点 施設		
(7) 行財政	①主要財政指標	(決算カード記載の主な項目等)	
	②職員数、議会議員 数などの状況	・現況 ・職員数については、集中改革プラン等 の概要	
	③広域行政の状況		
	※主要な使用料・手 数料等	必要に応じ次年度の段階で整理する。	
(8) 将来のまちづ くりに関わる、 国、県、及び各 市等の施策	①国関連	国土形成計画、首都圏基本計画等の策定 状況と、主な論点	
		都市交通ネットワーク等の形成に関わ る事項	
	②県関連	県の各種広域計画等（消防広域化、医療 圏その他）の状況と、今後の主な論点	
		県実施の事業のうち、本地域に特に影響 があると考えられるもの	
	③各市関連	今後想定される主要事業（広域的なまち づくりに影響の大きなもの等）	
④その他	民間の大規模施設等の移転計画などの 概要		

参考1 県ヒアリング結果に見る本地域の広域的課題

平成17年7月に千葉県が設置した千葉縣市町村合併推進審議会では、平成17年12月～平成18年5月にかけて、県内全市町村に対し、合併推進構想策定に係る市町村ヒアリングを実施し、その結果を、第2回審議会（平成18年2月）、第3回審議会（平成18年6月）において公表している。

ヒアリング項目中には、広域的課題に係る設問等も盛り込まれており、以下に課題等に係る主な設問の中から、東葛6市の回答を抜粋する。

※旧合併特例法下で合併を経験した野田市、柏市と、他4市では設問内容は異なる。

- 貴市町村における重要施策（政策的に重要施策と位置付けているものや他市町村との連携が不可欠で広域的に対応すべき課題など）とそれに対応するための課題は何ですか。また、どのように対応する方針ですか。 （近年の合併経験市への設問はなし）

- 広域的な取組が必要とされるもの

回答市	項目	課題	対応方針
我孫子市	手賀沼や利根川、古利根沼など自然環境の保全と活用	市民との一体的取り組み、外への情報発信、広域連携	環境を守るための用地の取得や環境資源を活かした交流人口の増加など、市民や近隣自治体と連携し、積極的な取り組みを展開するとともに、その情報を発信していく。

- 財源が課題となるもの

回答市	項目	対応方針
松戸市	小・中学校及び清掃工場等公共施設の耐震改修および更新	緊急性の高い施設から順次対応しているが、2015年以降に大規模改築施設が大量に発生する事が想定される。その為、計画的な対応が必要
流山市	つくばエクスプレス沿線整備事業	国庫補助金の増額要望を行い、さらに保留地の早期処分が可能となるような事業展開を図っていく。
鎌ヶ谷市	義務教育施設の維持補修	改修すべき校舎等は多数あるが、財源の許す範囲での対応となっている。

- 貴市町村の今後10年間程度を見通した行財政運営についての認識について、下記項目からのうち該当するものを一つ選択してください。

- ①現在の行政サービスの水準を維持・向上していくことが可能：柏市、流山市、我孫子市
 ②現在の行政サービスの水準を維持・向上していくことは困難：鎌ヶ谷市
 ③その他：松戸市、野田市

- 貴市町村の2030年におけるあるべき姿についてどのように考えていますか。

- ①現状の規模のまま、行財政改革による効率化を図り、住民生活を支えていく。：我孫子市
 ②市町村合併による行財政基盤の強化を図り、地域の総合行政主体として住民生活を支えていく。：流山市
 ③長期の見通しは行っていない。：鎌ヶ谷市
 ④その他：松戸市、野田市、柏市

■ 貴市町村の住民の生活圏・行政圏などについて一体性があると思う市町村はどこですか。

回答市	対象市町村名	状況
松戸市	東京特別区部	江戸川を境界として、東京23区に隣接しており、12年度国勢調査によると、市外への就業者・通学者合計153,471人のうち99,814人(65%)が23区に通勤・通学している。
	柏市	本市北東に隣接しており、12年度国勢調査によると、市外への就業者・通学者合計153,471人のうち、9,752人(6.4%)が柏市に、柏市からは、松戸市への市外からの就業者・通学者総計60,912人のうち、10,075人(16.5%)が通勤・通学している。
	市川市	本市南部に隣接しており、12年度国勢調査によると市外への就業者・通学者合計153,471人のうち、6,395人(4.2%)が市川市に、市川市からは、松戸市への市外からの就業者・通学者総計60,912人のうち、3,840人(6.3%)が通勤・通学している。
	流山市	本市北部に隣接しており、12年の国勢調査によると、市外への就業者・通学者合計153,471人のうち、3,017人(2.0%)が流山市へ通勤・通学し、流山市からは、松戸市への市外からの就業者・通学者総計60,912人のうち、5,804人(9.5%)が通勤・通学している。
	鎌ヶ谷市	本市東に隣接しており、12年度の国勢調査によると、市外への就業者・通学者合計153,471人のうち、2,017人(1.3%)が鎌ヶ谷市に通勤・通学し、鎌ヶ谷市からは、松戸市への市外からの就業者・通学者総計60,912人のうち、3,893人(6.4%)が通勤・通学している。
野田市	東葛5市(流山、柏、松戸、我孫子、鎌ヶ谷) 野田市は千葉県最北端に位置して南北に長く、茨城県や埼玉県との行政境もあることから生活圏は3県に及んでいること、また、行政境の全てを河川が取り囲むという地理的特性を有していることから、生活圏・行政圏の両面において県内の市町村と一体性を実感できる状況がうまれにくいと考える。 ただ、県内においては、隣接する流山市、柏市には、統計上通勤・通学者が相対的に多いことや買い物等で出かける者が多いことから、生活圏として一体性があると考え。また、野田市を含めた東葛6市は、東葛広域行政連絡協議会により広域的な行政課題の調査研究を行っていることもあり、行政圏としては、左記の東葛5市と一体性があると考え。	
柏市	流山市	東葛中部地区総合開発事務組合で火葬場、知的障害者更生施設などの事務を共同処理している。また住民票等の共同発行を行っている。東武野田線豊四季駅や常磐線南柏駅は流山市民も多く利用しており、一体感は強い。
	我孫子市	東葛中部地区総合開発事務組合で火葬場、知的障害者更生施設などの事務を共同処理している。また住民票等の共同発行を行っている。また手賀沼に関連した浄化対策やスポーツ、花火などのイベントを共同開催している。
	松戸市	東葛6市ではこれまで広域行政に関する調査・研究や広報紙への各市の情報掲載を行っている。
	野田市	東葛6市ではこれまで広域行政に関する調査・研究や広報紙への各市の情報掲載などを行っている。
流山市	鎌ヶ谷市	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合でし尿、ごみの共同処理を行っている。また、東葛6市ではこれまで広域行政に関する調査・研究や広報紙への各市の情報掲載を行っている。
	松戸市 柏市 野田市	三市は行政境により隣接する市町村であります。住宅については、当市と連たんしている地域もあり、住民視点での一体性も見られる。特に、つくばエクスプレス開通により、柏市との都市再生プロジェクトの協働事業も推進され、行政圏の一体性も今後強まるものとなります。また、市民の商業地利用については柏駅周辺は流山市民にとっても一体性のある商業生活圏であります。

回答市	対象市町村名	状況
	我孫子市	東葛中部地区総合開発事務組合（流山市・柏市・我孫子市）の構成市であり、障害者厚生施設及び火葬場の共同利用を行っている。また図書館の共同利用も行っており行政サービスの面でのつながりもあります。
	鎌ヶ谷市	流山市を含む6市（上記4市を含む）で構成される東葛広域行政連絡協議会の構成市であり、広域的行政課題について共同研究を行っている。
我孫子市	柏市	手賀沼を挟んで隣接しており、「手賀沼を生かしたまちづくり推進協議会」を設けている。また、柏駅前等の商業施設で買い物をする我孫子市民、我孫子市の生涯学習センターを利用する柏市民は多い。
鎌ヶ谷市	柏市(隣接市)	ゴミ処理(旧沼南町分)を環境衛生組合で共同処理している。
	柏市・白井市(隣接市)	し尿処理を環境衛生組合で共同処理している。
	船橋市・習志野市・八千代市	特別養護老人ホーム、斎場を四市複合事務組合で共同処理している。

■ 新合併特例法下での合併検討の意向について、現時点での合併検討の意向等について番号に○印をつけてください。

- ①検討したい： 松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市（各市とも時期については「期間にこだわらず」と回答）
- ②検討しない： －
- ③どちらとも言えない： 鎌ヶ谷市

※上記の回答の理由など（記載がある市のみ抜粋）

- ・（野田市） 現在見通しが不透明である道州制の議論が深まった場合には、基礎自治体である市町村に多くの権限が下りることになるが、今の自治体のマンパワーや財政規模で対応していくことは困難である。つまり、それに見合うだけの財源やマンパワーが必要であると考えられることから、東葛地域について言うなら、大規模な広域合併（政令市規模）について議論する必要があるものとする。

政令市では、それぞれの区に権限をある程度残し、ある程度の行政サービスを完結させなければならず、行政改革効果を出すための行政機構の集中ができないことから、どれだけスケールメリットが得られるか、どのくらい税源移譲がなされるのかを明確にする必要があると考える。

また、東葛6市で組織する『東葛広域行政連絡協議会』において、事務レベルの組織として『政令指定都市問題研究会』を立ち上げ、政令指定都市に関するメリット・デメリット等の調査研究を行う予定である。

- ・（柏市） 合併に関するメリット、デメリット等について、東葛6市の市民へ十分な説明を行う必要があり、議論を通じて、合併に向けた機運の盛り上がりも必要である。
- ・（流山市） 合併については、関係市町村との十分なコンセンサスなしに行うべきではなく、県の考えの中にあるスケールメリットや理念だけでは住民の理解を得ることは難しく、十分な調査研究が必要と考えます。当面、本市の行政需要に対応した健全な行財政運営の確立が喫緊の課題であると考えており、このことが、政令市実現に向けた合併議論の中で流山市はそれが実現するときに、吸収される形ではなく対等に議

論の筋道をつけることに繋がると考えます。

- ・(我孫子市) 政令指定都市を目指した広域の合併の検討は、期限にこだわらず今後続けていきたい。(都市内分権の拡充など制度改正も含め)
- ・(鎌ヶ谷市) 平成 15 年 10 月に実施した鎌ヶ谷市市民意識調査(まちづくりアンケート)の結果によれば、「鎌ヶ谷市単独で規模に見合う整備を進める」と「近隣市との広域行政を進める」との意見が合わせて 46.7%を占めており、市民の合併への意向はあまり強くありませんが、今後予想される厳しい財政状況等を鑑みると、検討の必要性を認識しております。

■ 合併が想定される具体的な組合せがあればご記入ください。

回答市	対象市町村名	状況
松戸市	柏・流山・野田・我孫子・鎌ヶ谷・松戸	域内における人的交流が多い。 東葛広域行政連絡協議会により連携の実績がある。 域内都市の異なる状況が補完関係の可能性
	市川・浦安・鎌ヶ谷・松戸	将来の東京外郭環状道路・北千葉道路の整備促進、庁舎建て替え等インフラ面の共通課題。 市川・松戸の都市状況に共通性が高い
野田市	東葛 6 市（流山、柏、松戸、我孫子、鎌ヶ谷、野田）	野田市は千葉県の最北端に位置していて南北に長く、茨城県や埼玉県との行政境もあることから生活圏は 3 県に及んでいること、また、行政境の全てを河川が取り囲むという地理的特性を有していることから、生活圏・行政圏の両面において県内の市町村と一体性を実感できる状況がうまれにくいと考える。 ただ、県内においては、隣接する流山市、柏市には、統計上通勤・通学者が相対的に多いことや買い物等で出かける者が多いことから、生活圏として一体性があると考え。また、野田市を含めた東葛 6 市は、東葛広域行政連絡協議会により広域的な行政課題の調査研究を行っていることもあり、行政圏としては、左記の東葛 5 市と一体性があると考え。
柏市	東葛 6 市（松戸市、流山市、野田市、我孫子市、鎌ヶ谷市、柏市）	東葛 6 市ではこれまで広域行政に関する調査・研究や広報紙への各市の情報掲載などを行っており、平成 18 年度から政令指定都市の調査・研究を行う予定
流山市	流山市・柏市・松戸市・野田市・我孫子市・鎌ヶ谷市	いずれも、東葛広域行政連絡協議会の構成市であり、生活圏及び行政圏域での一体性が強い。
我孫子市	(記載なし)	(記載なし)
鎌ヶ谷市	(記載なし)	(記載なし)

■ 合併に向けた課題とその対応方針について

合併に向けた課題があれば、以下の項目から該当するものを選択して○を付してください。

(複数回答可) また、具体的な対応方針等についても併せて記入願います。 (近年の合併経験市への設問はなし)

○住民サービス、負担の格差に関するもの

- ・(流山市) インフラ整備普及率の格差がある。

○住民意識に関するもの

- ・(鎌ヶ谷市) それぞれの市民が居住する地域によって、生活圏の違いがある。

○地域の個性の維持に関するもの

- ・(流山市) TX 沿線の新たなまちづくり戦略地域とその他政策との優先順位づけ。

○合併の基本4項目（期日、方式、名称、事務所の位置、）に関するもの

- ・(松戸市) 合併そのものに、大半の賛成が得られたとしても、合併論議が具体化すれば、これらの項目が、理屈ではなく、感情として受け入れられるか、どうか最大の問題と考えられます。本市には、何代に渡って生活してきた市民も多く、最悪でも対等合併・市名は新しいものに、庁舎は合併市のなかの中央付近にという前提でないと、例え合併の議論が進んでも、最終段階で実現しないのではないか、と危惧します。

参考2 東葛市町広域行政連絡協議会 広域行政研究会「広域連携のあり方に関する調査報告書」(平成15年3月)
 において整理した広域的課題

※注： 当時、研究会へ野田市・関宿町はオブザーバー参加

各市町の考える「主として広域的に取り組むべき地域課題」

		松戸市	柏市	流山市	我孫子市	鎌ヶ谷市	沼南町	※参考 野田市・関宿町新市建設計画
主として広域的 に取り組むべき地域課題	医療	○国保松戸市立病院 小児医療及び救命 救急医療に係る補 助に係る施策		○高度専門医療機関 の誘致	○総合的な医療体制 の整備			※「県事業の推進」と して ○道路網の整備
	鉄道	○東京11号線の松 戸延伸と県北西部 延伸 ○常磐線の東京駅乗 入れ ○成田新高速鉄道	○広域交通の充実(鉄 道網の整備促進・輸 送力増強)	○つくばエクスプレ ス建設の促進	○JR成田線の複線 化・利便性の向上	○東京10号線の延 伸	○東京10号線およ び11号線の延伸	
	道路		○広域交通の充実(千 葉柏道路の整備促 進)		○都市間道路の整備 ○栄橋の混雑緩和	○国道464号線の交 通渋滞 ○船橋我孫子線の交 通渋滞	○都市間道路の整備 ○国道16号混雑解 消(千葉柏道路)	
	基盤整備		○広域的、一体的な都 市基盤整備		○手賀沼の調整池機 能の保全 ○防災対策の連携強 化			
	環境	○首都圏における樹 林地の相続税軽減	○広域的な環境問題 への取り組み ○清掃工場関連	○準用河川神明堀の 整備	○手賀沼の水質浄化 ○地球温暖化対策	○大津川の整備 ○廃棄物処理	○手賀沼の水質浄化 ○手賀沼周辺斜面緑 地の保全	
	施設利用		○住民生活の利便性 の向上(市民生活、 教育分野など)	○公共施設の相互利 用	○公共施設の相互利 用			
	拠点性向上		○国内外の諸地域と の地域間競争への 対応	○業務核都市の位置 付けに向けた取り 組み		○柏駅～松戸駅～新 鎌ヶ谷駅の(鉄道) 軸を活用した都市 軸構想の検討		

※野田市、関宿町については、野田市・関宿町新市建設計画の中から、広域的に取り組むことを想定した記述を抜粋しています。ただし、野田市総合計画、関宿町総合計画等には、上記のほか、広域的に取り組むことを想定した記述(鉄道の整備など)もあります。